

# 中国地域ニュービジネス特別賞

## 表彰事業

軽量、高精細LEDビジョンの企画・製造・販売



## 株式会社 ストロベリーメディアアーツ

代表取締役CEO 松井 雅彦 まつい まさひこ

## 受賞理由

映像・音響機器のレンタル、各種イベントの設営、演出を行う事業を行っている。屋内外の舞台イベントで大型の表示装置を設置する業務が増えているが、既存の表示装置はビル壁面へ設置する屋外広告用が多く、重く、高価でかつ映像の精細さに欠け、設置方法の自由度が低く、作業者に優しいものではなかった。適切な表示装置がなかったため、自社で開発に取り組み、平成19年に80%の軽量化、組み立てやすさ、表示の美しさで当時としては画期的なLED表示装置を発表した。その後も強風を逃す方式、屋外でも対応できる輝度の確保、特殊塗料を使用し反射を軽減させたブラックリフレクター（広角視野確保技術）、更なる軽量化など、次々と革新的な製品を開発している。これまでは、国内の放送関係が顧客であったが、建設関係等からも引き合いがきている。世界的な展示会に積極的に出展しており、今後は海外市場も視野に入れている。

(ポイント)・屋内外のイベントで扱いの容易な大型表示装置の開発・販売で成長。

- ・従来品は重く扱いが大変であったため、製品開発では作業者に優しい製品をキーワードにしている。
- ・軽量であるため、つりさげ方式で大画面を構成することが可能。高精細、広角視野確保、そして特殊なコーティングによる低反射の装置も開発されている。
- ・同社を立ち上げた前社長は放送関係に従事していた。同氏が技術開発を行っており、開発に専従するため社長を譲り別会社を設立。開発費はストロベリーが負担。
- ・世界的な展示会で知名度を上げ、海外も視野に入れている。
- ・建設会社等との付き合いも出てきており、多分野での発展が期待できる。

## 事業概要

昭和59年に設立。使い勝手の良い表示装置がなかったため自社開発に着手。同社を立ち上げた前社長が技術開発を行っており、開発に専従するため社長職を譲り別会社を設立。「作業者に優しい製品」をキーワードに映像機器の開発を行い、革新的な製品開発で業績を上げている。同社は開発・設計を行い、部品は韓国等から調達、組み立ても委託しているが、特許のブラックリフレクターは自社組み立てを行っている。従業員は4年間で21名から41名に増加している。

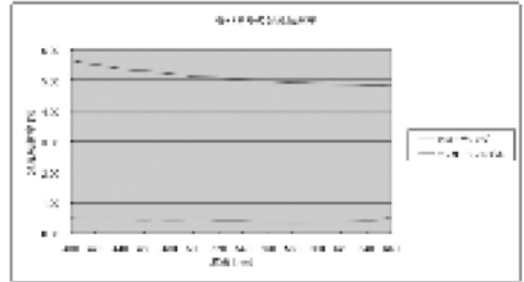
会社所在地	〒751-0806 山口県下関市一の宮町3-11-4		
T E L	083-263-3040	U R L	<a href="http://www.smacom.jp">http://www.smacom.jp</a>
会社設立	昭和59年12月	従業員数	41名(平成22年11月30日現在)
資本金	10百万円	売上高	581百万円(平成22年4月期)

## 新時代のLEDディスプレイ 『高精彩にして軽量、低反射のブラックフェイス』

従来の仮設型LEDディスプレイは、重量が重く、設置する場合も手間がかかっていました。ステージなどの舞台演出で使用する場合は、設置、撤去作業の迅速化が要求されます。又、暗転のシーンで演出用映像装置が見えても、演出の魅力は半減されます。このように使う方々のニーズに答えるために、開発されたのが「ブラックホール9」です。

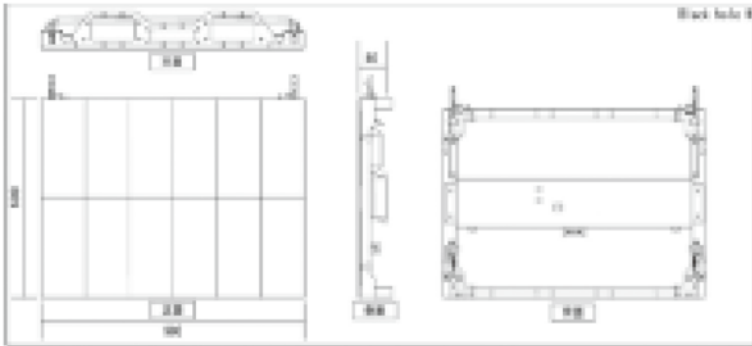
### 【とにかく、黒にこだわりました】

低反射の特殊コーティングを施したりフレクターと、ブラックSMDを採用することにより、高コントラスト比を実現。画面部に照明があたっても黒色が浮かない（反射しない）ため、従来型のLEDディスプレイと比較すると、画面は鮮やかで、演出による暗転シーンでも、黒を演出。



### 【とにかく、軽さにこだわりました】

昨今、コンサートや劇場などで映像演出を行なう場合、仮設の大型ビジョンが用いられます。設置環境においては、短時間での設置、撤去が要求されます。ブラックホール9のボディは軽量化を図る為の特殊PCを使用し、連結部もワンタッチで装着、脱着できるように設計をおこない、設置、撤去がスピーディにできるようになっています。LEDディスプレイを軽量化することの利点としては、劇場やホールなどの美術パトンにかかる負荷が軽量化され、その分画面サイズを大きくすることも可能で、画面の昇降も可能になるため演出の幅が広がります。又、画面設置の為の仮設機構を設計する場合も、従来のものより簡素化できるため、コストダウンに繋がります。



### 【とにかく、画質と単価こだわりました】

SMDタイプのLEDチップの採用。(国産LEDチップ)高輝度タイプ。コストパフォーマンス。の3点を考慮し設計された、9.375mmピッチ。LEDディスプレイは、ドットの集合体です。ピッチを狭くするほど高精彩になります。又、SMDも小型で輝度の低いものを使わないといけません。そうすると、コストがあがり製品単価が高くなります。私たちは、「安価な高画質」を目指し、経験を生かし、考えました。LEDチップは色再現性に、最も優れた、日亜化学製(日本)を採用。コストパフォーマンスを考えても、これだけは譲りませんでした。ドットピッチは、使用する映像サイズを100インチ以上と設定し、経験上、映像表現が可能という判断で9.375mmピッチに設定しました。



株式会社ストロベリーメディアアーツは、常にお客様の声に耳を傾け、研究・開発を行い、提案しお客様の求める商品を開発してまいります。